INCJの投資活動

昨年度の振り返りと今後について

2020年７月27日

株式会社 INCJ

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

基本方針

オープンイノベーションを通じて
次世代の国富を担う産業を育成・創出する

基本方針

- 収益性・実現可能性と、社会的な意義（投資インパクト）を重視
- 中長期のリスクマネーを提供
  （実投資額に対する長期の回収倍率（Multiple of Cost：MoC）を重視）
- 民間だけではリスクが高く投資が困難な分野への投資
  （民間企業・民間ファンドと協働し、呼び水効果を創出）

投資基準

①社会的ニーズへの対応、②成長性および ③革新性が認められること

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

活動指針

- 産業革新投資機構（JIC）の設立後も、これまで通りの方針に従ったバリューアップ・追加投資を実行する
- 広範かつきめ細かい経営支援により、投資先の事業価値を高める
- 社会的インパクトと財務リターンを最大化するエグジット戦略を実行する
- 社内外での人材育成、情報発信、ネットワーキングを通じ、投資のエコシステム作りに貢献する

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

実施体制・組織

既投資先への追加投資やハンズオン支援を継続して行うことで、
投資先の価値向上を図るとともにExitに向けた取り組みを行う。

注）2018年9月の会社分割後も、投資・Exitの案件ごとに経済産業大臣に直接、意見照会を実施している。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

新規・追加投資およびエグジット案件（2019/4～2020/3）

新規投資 5件、追加投資 7件、EXIT 11件

新規投資案件

・（株）Ridge-i
・ピクシーダストテクノロジーズ（株）
・GROUND（株）
・（株）ランドデータバンク
・（株）ユニファ

追加投資案件

・（株）JOLEDへの追加出資等
・リンクウィズ（株）への追加出資（枠内）
・（株）エクサウィザーズへの追加出資
・アトナープ（株）への追加出資
・（株）LINK-USへの追加出資
・（株）メガカリオンへの追加出資
・（株）XTIAへの追加出資
・（株）ジャパンディスプレイへのリファイナンス等

Exit案件（含む支援撤回）

・AGS社の株式譲渡
・（株）セレブレクスの株式譲渡
・SOINN（株）の株式譲渡
・Sansan（株）上場に伴う株式売り出し
・（株）JTOWERの一部株式譲渡
・Zeptor Corporationへの支援決定の撤回
・リバーホールディングス（株）の株式譲渡
・（株）キュラディムファーマへの支援決定の撤回
・レナセラピューティクス（株）の株式譲渡
・オスカーテクノロジー（株）の株式譲渡
・（株）ジャパンマルチメディア放送の株式譲渡

参考（本年4月以降）

・（株）IP Bridgeの株式譲渡
・（株）マテリアル・コンセプトの株式譲渡
・Aguas Nuevas S.A.の株式譲渡
・積水バイオリファイナリー（株）への出資
・（株）BeeEdge（ビーエッジ）への追加出資（枠内）
・Broomco (3554) Limitedの株式譲渡
・（株）GRAへの追加出資
・（株）JTOWERの全株式売却
・QUADRAC(株）への追加投資（枠内）

INCJ © INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

追加出資（19年度後半）

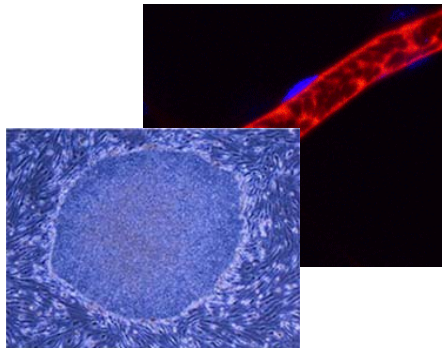
投資先企業の着実な成長を継続して支援

1. LINK-US　超音波複合振動接合装置を開発・製造

支援決定金額：総額10億円（2018年2月に4億円、2020年1月に6億円）
実投資額は7.5億円。

追加投資理由：超音波の複合振動を利用した世界唯一の接合技術を持つ。
接合装置の量産化を実現し、複数の国内大手メーカーの製造ラインへ導入済み。今後は、ラインアップを拡充して、適用範囲を拡大。

2. メガカリオン　ヒトiPS細胞由来血小板製剤の実用化



支援決定金額：総額56億円 (2013年8月に10億円、2015年3月に20億円、2017年12月に11億円、2020年2月に15億円)　実投資額は52.9億円。

追加投資理由：血小板を大量に生産する製法の確立に成功。
今後は、日本での治験開始のための治験薬製造や非臨床試験を実施。

3. XTIA　「光コム」の原理を応用した高精度非接触方式の検査機器を開発・販売

支援決定金額：総額10億円 (2018年4月に4億円、2020年2月に6億円)

追加投資理由：大企業の生産ラインに導入され、高精度と全数検査を両立する測定器として高い評価を得る。
今後は、大企業との協業により、より付加価値の高い製品開発に舵を切る。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

バリューアップ支援活動

資金支援以外にも様々な形で投資先企業の
ハンズオン支援を実施

<案件例>

1. LINKWIZ　産業用ロボット制御のシステムソフトウェアの開発

INCJは、資金調達のリードに加え、事業会社株主との共同開発スキーム構築など、大企業とのオープンイノベーションにおいて的確なアドバイスを実施。

2017

●INCJ：4億円の支援決定

2019

●シリーズB　総額9億円
パナソニック、ミツトヨも出資

2020

●ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ｽﾏｰﾄﾌｧｸﾄﾘｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞと溶接外観検査ｿﾘｭｰｼｮﾝを共同開発

2. ステラファーマ

INCJは、BNCT用ホウ素薬剤・ステボロニンの発売に先立ち、薬価収載申請について的確なアドバイスを実施。

2016

●INCJ：35億円の支援決定

2019

●世界で初めて、ホウ素中性子捕捉療法用ホウ素薬剤の製造販売承認を申請

2020

●世界初、BNCT用のホウ素薬剤を5月20日に新発売。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

Exit活動

＜主なExit案件＞

1. 株式会社 IP Bridge の株式譲渡

日本初となる総合的な知財ビジネスモデルの創出に貢献

- INCJ は知財の有効活用や海外流出防止、知財戦略の強化支援が、日本の産業競争力の強化に貢献できると考え、会社設立の構想段階から参画。
- 知財を有する企業が、知財から得られる収益によって研究開発投資等の回収を促進し、さらに基礎技術や知財に再投資できるという循環型の仕組みを創出。

2. 株式会社マテリアル・コンセプトの株式譲渡

産・官・学の連携強化によるアカデミア発ベンチャーの成功事例

- 銀と同等の導電性、密着性を持つ焼結型銅ペーストを開発・実用化を目指す東北大学発のベンチャー企業。
- INCJは素材分野における画期的新技術の事業化を支援することで、アカデミア発ベンチャーの成功例の創出や産官学連携の強化を期待。
- 出資後6年を経て、量産化に目途が立ち、JX金属に株式譲渡。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

新規投資（参考）
INCJ最後の新規投資案件

積水バイオリファイナリー株式会社

- 積水化学からバイオリファイナリー事業をカーブアウトして共同で合弁会社を設立
- 化石資源に依存しないバイオリファイナリー・エコシステムの創出を目指す
- 支援決定金額：30億円（上限）／支援決定公表日： 2020年4月16日

＜積水バイオリファイナリーを通じて目指す将来像＞

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

大型投資案件の状況(1)

株式会社ジャパンディスプレイ

INCJの対応

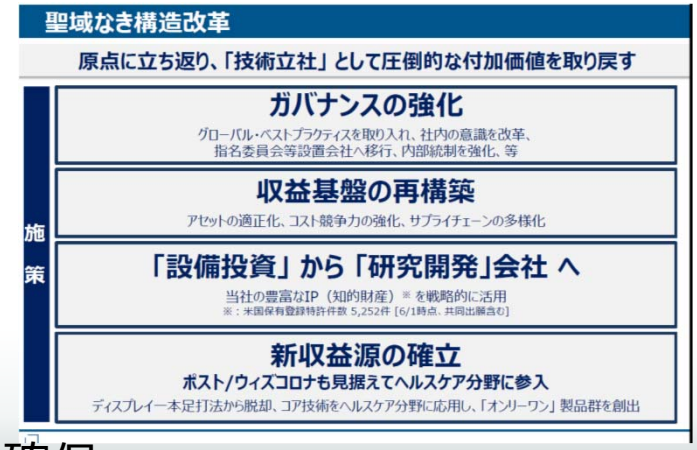
- **いちごトラストの出資に伴い、一部債権のリファイナンスを実施**
- **債権者かつ第二位株主として新スポンサー下での経営再建を支援**

■ いちごトラストからの出資による資本増強およびINCJによるリファイナンス等により財務体質は大幅に改善

■ 指名委員会等設置会社への移行を含めたガバナンスの強化

■ 聖域なき構造改革を推し進めることで「技術立社」としての復活を目指す

■ ヘルスケア分野への参入など、新たな収益源の確保



© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

大型投資案件の状況(2)

株式会社JOLED

INCJの対応

- **JOLEDの競争力強化のためのTCL CSOT社との資本業務提携を支援**
- **上記提携を促進するための資金支援を実施**

「製品ビジネス」

■ ハイエンドモニター、車載等向けの中型有機ELディスプレイ生産立上げ

■ 能美工場での量産体制が確立

「技術ビジネス」

■ TCL CSOT 社との資本業務提携

■ テレビ向け大型有機ELディスプレイの共同開発

■ 知財の積極的活用

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

大型投資案件の状況(3)

ルネサスエレクトロニクス株式会社

INCJの対応

- **ルネサスを成長軌道に戻すというINCJの役割を果たしつつある**
- **ルネサスの今後の成長戦略遂行を考慮しながらExitを検討**

■ 中長期成長戦略を公表（2月17日）

■ 企業買収により製品ポートフォリオを改善

■ 産業/インフラ/IoT分野を拡充するとともに、車載向けを補完

■ 車載向けはADAS、EV向けビジネス強化

■ 米IDT*の製品を組み合わせた100以上の「ソリューション」を提供

＊IDT：Integrated Device Technology

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

残り5年間の運営方針

2025年3月に向けてのExit計画

・INCJとしての新規投資案件は終了。

・今後の5年弱は既投資先のValue upとExit活動に集中。

・2020年3月末で、総投資案件数は143件、完全Exitは54件

・今後、2025年3月末までに約90件のExit活動を行っていく。

⇩

INCJの仕上げに向けて非常に重要な段階へ

	総投資案件数	完全Exit	未Exit
2020年3月末	１４３件	５４件	８９件
2020年7月末	１４４件	５９件	８５件

＊一部 Exit：JDI、ルネサス、Peach、Sea Jacks、JTOWER（7/2完全Exit）

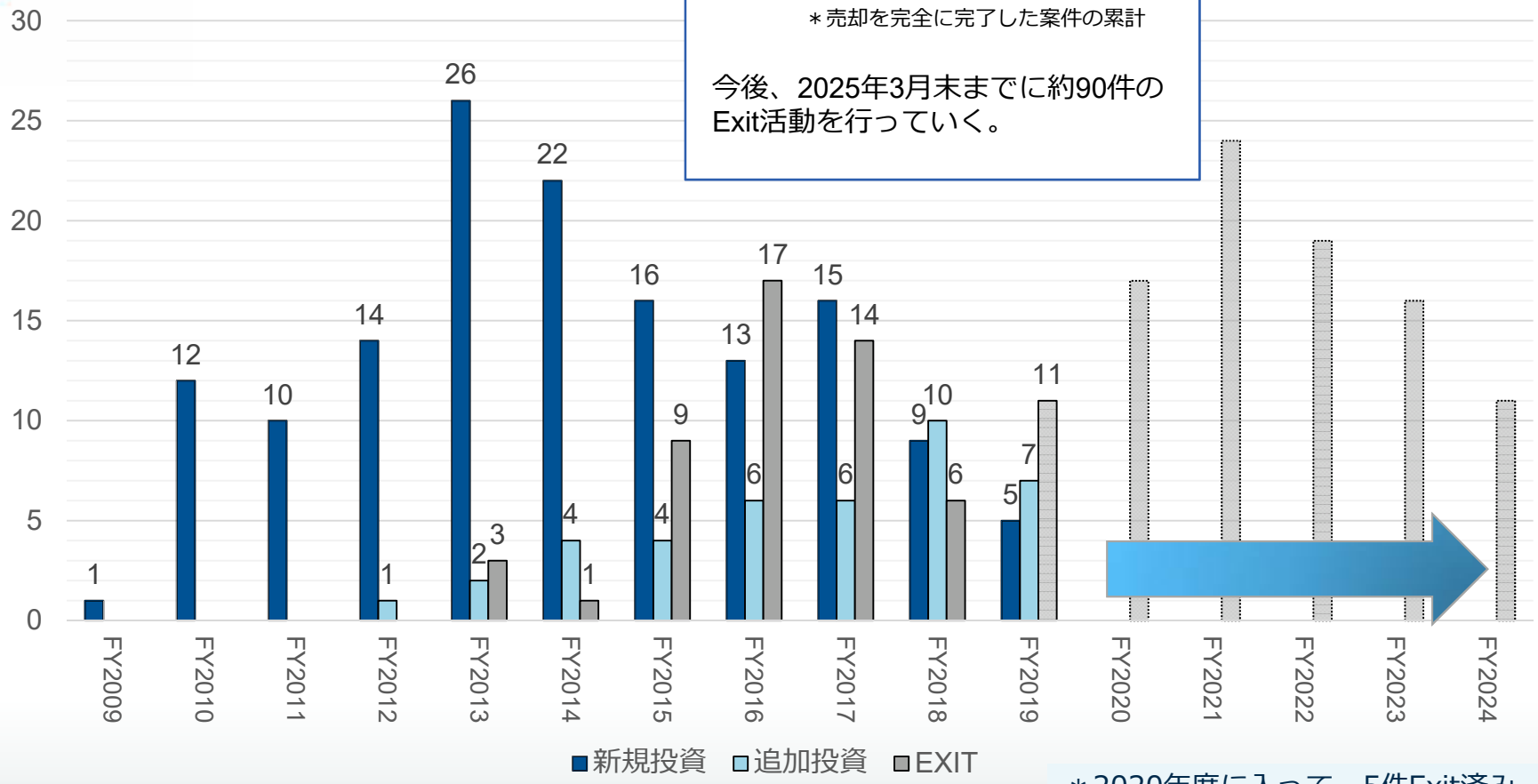
© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

新規・追加投資およびエグジット推移（発表件数）

今後、約90件のExit案件

Exit件数 / 投資決定件数
54件* / 143件（2020年3月末時点）
＊売却を完全に完了した案件の累計

今後、2025年3月末までに約90件のExit活動を行っていく。

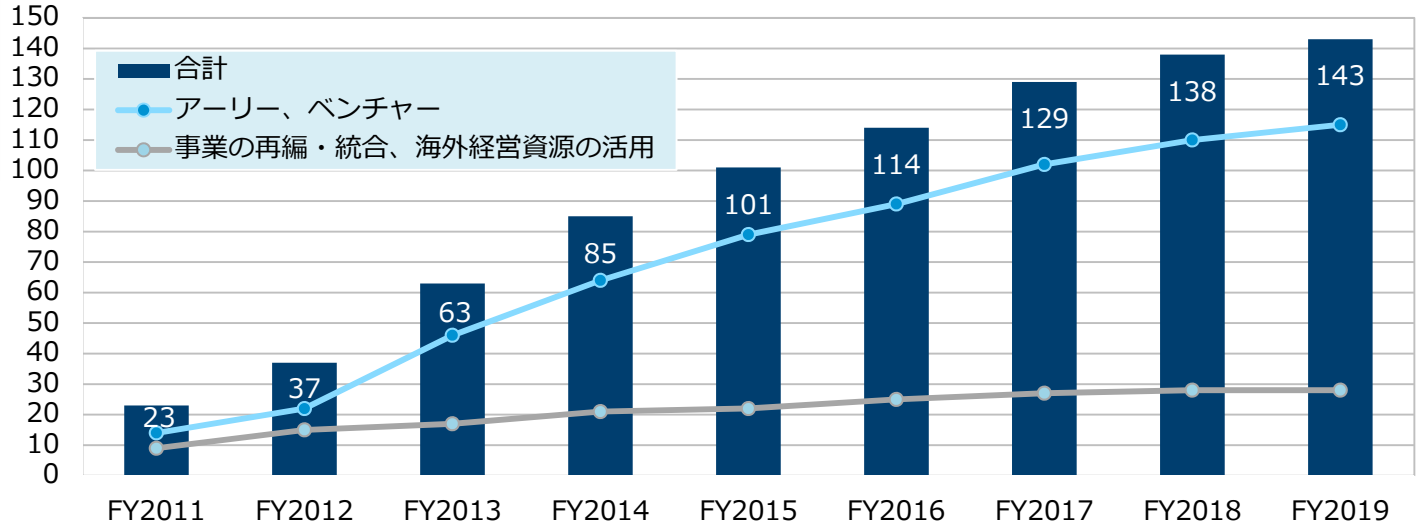


＊2020年度に入って、5件Exit済み

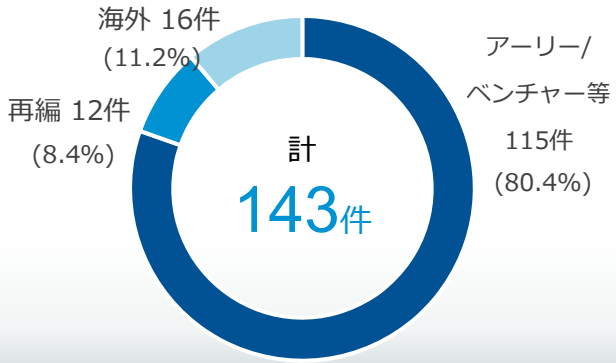
© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

投資決定件数・金額（2020年3月末時点）

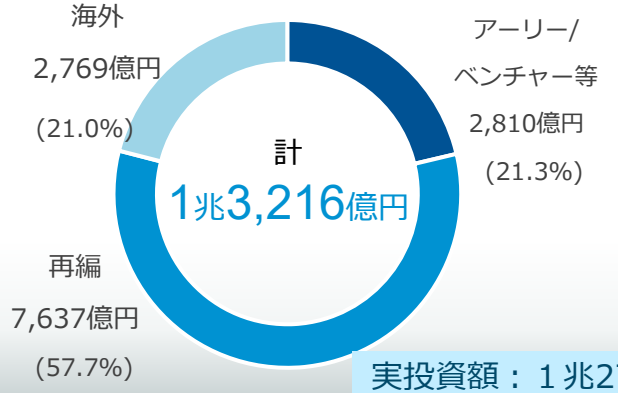
投資決定件数推移（累計）



投資決定件数（累計）：種別



支援決定金額（累計）：種別

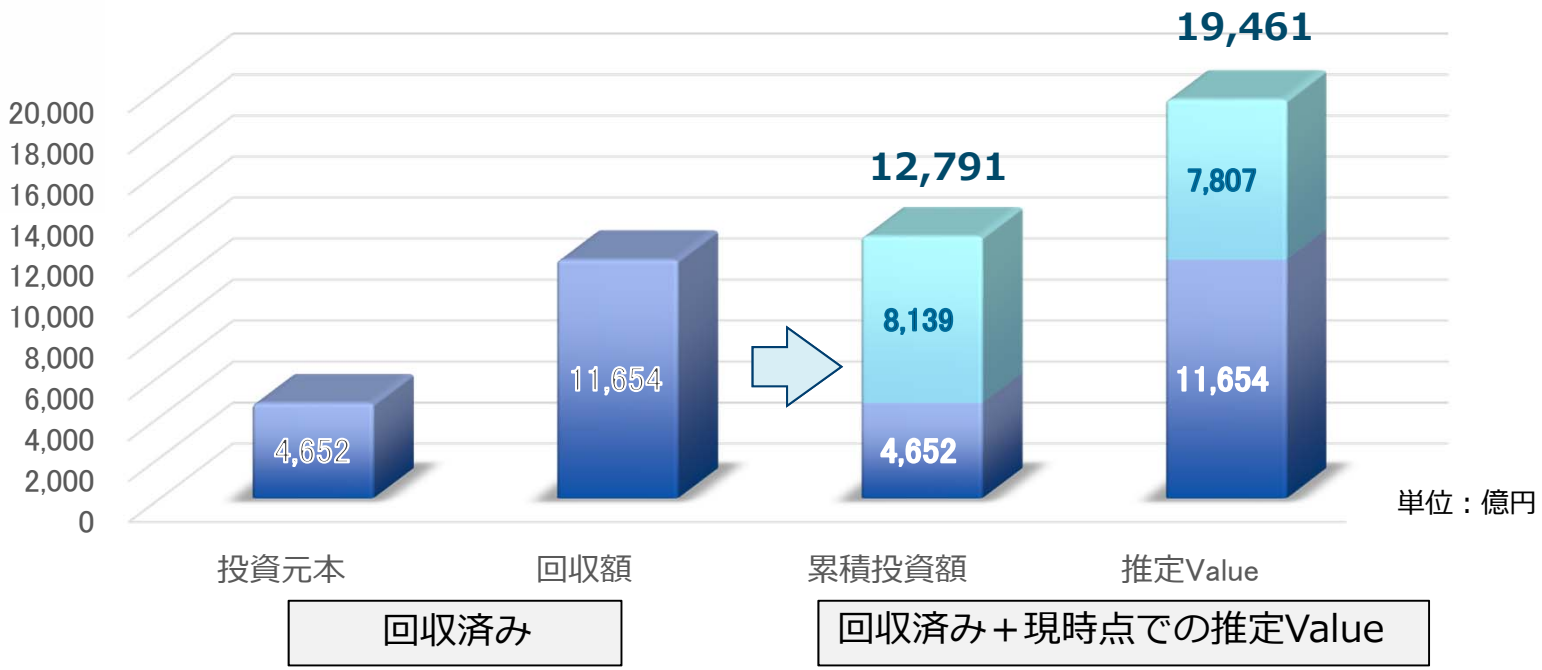


実投資額：１兆2791億円

注）このほかLP投資経由で266社に投資を行っている。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

投資回収状況（2020年3月末時点）



2020年3月末時点の

回収額	：11,654億円
投資元本	：　4,652億円
累積投資額	：12,791億円
推定Value	：19,461億円

■実資金回収額が累積投資額をほぼカバーしつつあり、今後の環境変化に対して打たれ強い投資ポートフォリオを構築

■今後は、2025/3末に向けて、未回収案件に対するValue upと個別案件のEXIT推進を通じて、未回収元本からの資金回収の最大化を実現へ

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

Appendix

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

INCJの実績（投資vs.回収）①全体像

Exit実績 (2020年3月末時点：61社+LPS)

注）Exit実績は、一部売却を含むExit案件数の累計（会社数）

現時点Performance

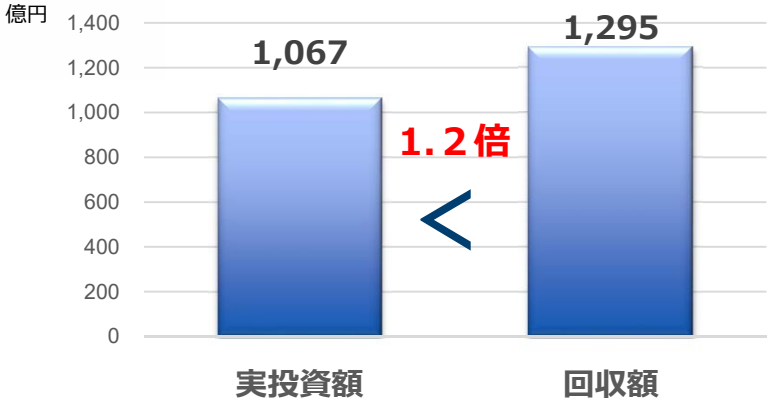
注) 投資のコストおよびリターンをより厳密に評価するため、「実投資額」は出資・貸付実額に付随経費を加えた額とし、「回収額」は配当・利息等収益を加えた額としている。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

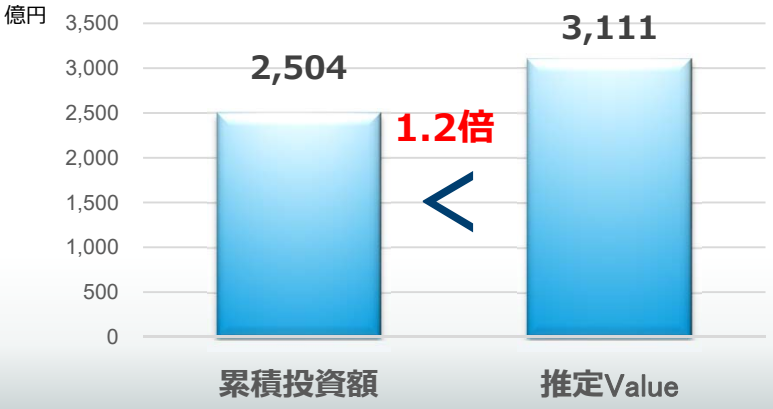
INCJの実績（投資vs.回収）②投資種別- 1

アーリー/ ベンチャー企業投資

Exit実績 (2020年3月末時点：45社+LPS)

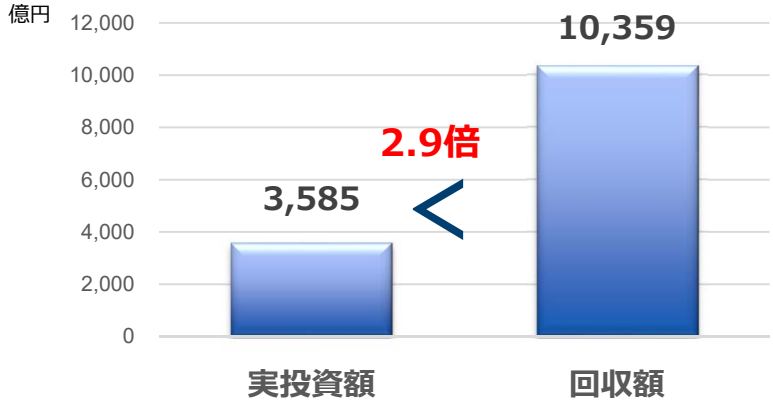


現時点Performance



事業再編・統合 / 海外資産活用

Exit実績 (2020年3月末時点：16社)



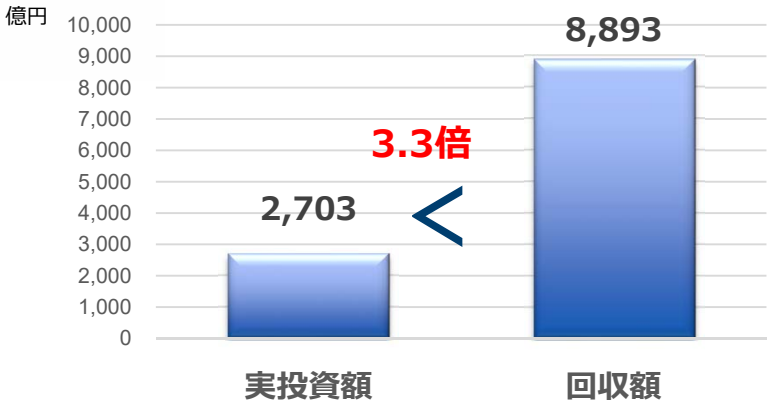
現時点Performance

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

INCJの実績（投資vs.回収）②投資種別-2

事業再編・統合

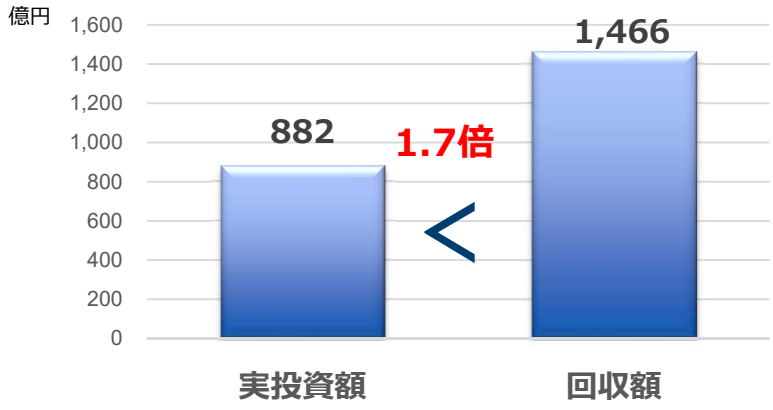
Exit実績（2020年3月末時点：7社）



現時点Performance

海外資産活用

Exit実績（2020年3月末時点：9社）



現時点Performance

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

INCJの実績（個別投資案件）

従来から、EXIT済み個別投資案件の株式譲渡金額、収益等については、投資先企業および譲渡先企業に不利益を与える可能性があるため、公表を控えてきたが、改めて開示内容について見直しを行い、IPO銘柄および上記関係会社が開示を行っている場合については、原則として、下記の通り公表することとした。

IPO/PO案件（含一部売却）

2020年7月27日現在　（単位：100万円）

公表年月	会社名	見合投資元本（付随費用除く）	回収額（配当等含む）	損益
2014.3	ジャパン ディスプレイ	93,000	163,634	70,634
2015.6	中村超硬	1,245	1,298	53
2016.12	リファインバース	500	970	470
2017.3	ヨシムラフードHD	900	2,615	1,715
2017.6	＊ルネサス エレクトロニクス	38,123	259,838	221,715
2017.7	Landis+Gyr Gr.	53,509	102,464	48,956
2018.2	エルテス	300	1,292	992
2018.4	＊ルネサス エレクトロニクス	24,404	218,343	193,939
2019.6	Sansan	750	7,321	6,571
2020.7	JTOWER	550	2,706	2,156

＊ルネサスは投資時上場していたが、参考として掲載

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

INCJの実績（個別投資案件）

上場企業への株式売却案件

2020年7月27日現在　（単位：100万円）

公表年月	会社名	見合投資元本（付随費用除く）	回収額（配当等含む）	損益
2013.11	JEOL RESONANCE	1,500	2,950	1,450
2015.7	日本インター	3,500	6,236	2,736
2015.7	ユニキャリア ホールディングス	30,000	73,317	43,317
2016.7	アルプス グリーンデバイス	6,249	1,200	-5,049
2016.12	KBI Biopharma	5,339	9,151	3,812
2017.1	アグラ	600	107	-493
2017.2	Peach Aviation	1,940	13,905	11,965
2015.9 2017.2	出版デジタル機構	7,000	12,452	5,452
2017.5	All Nippon Entertainment Works	2,220	35	-2,185
2018.3	ルネサスエレクトロニクス	9,003	81,029	72,026
2019.7	JTOWER	800	7,004	6,204

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

コロナ禍での投資先の対応

コロナ禍においても、投資先の中には、事業の特徴を活かし、業容の拡大やCSR的な取り組みを積極的に行ってる企業もある。

エンブレース株式会社

① コロナ感染オンライン健康サービス
② 医療従事者向けコミュニティサービス

医療介護連携ＳＮＳ「メディカルケアステーション」を運営するエンブレース株式会社は、医療専門家のクラウドソーシングサービス「ＤＯＣＴＯＲＳ　ＣＬＯＵＤ」を運営するドクターズ株式会社と共同で、医師による新型コロナウイルス感染症のオンライン健康相談サービスと医療介護従事者向けコミュニティサービスを開始しました。

ユニファ株式会社

保育者に洗えるマスクを届けるプロジェクト　クラウドファンディングで支援金を募集

ユニファ株式会社は、ストレッチパンツ専門工房を運営するパレ・フタバ株式会社、衣類生産のプラットフォームを提供するシタテル株式会社、病児保育・一時保育を運営する認定ＮＰＯ法人ノーベルと共同で、「緊急支援： 国内2，０００ 施設の保育者へ“ 洗えるマスク” を届けるプロジェクト」として、クラウドファンディングを活用して支援金を募集し、保育者用の洗える超伸縮フィットマスクの無償提供を共同で実施。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

コロナ禍での投資先の対応

ルネサスエレクトロニクス株式会社

＊同社の公表資料より

人工呼吸器

オープンソースの設計仕様に基づいた人工呼吸器を、効率的に短期間で設計きるようリファレンスデザインを公開。

パルスオキシメータ

医療分野向けパルス酸素濃度系ソリューションを提案しています。肺炎患者の肺の機能を監視することができるため、新型コロナウイルスの医療現場で活躍。

非接触型電子体温計

非接触でありながら正確な体温を測定できる電子体温計にも、赤外線タイプの非接触型電子体温計ソリューションを提案しており、需要の拡大に対応。

酸素吸入器

ルネサスのセンサ信号コンディショナは、酸素吸入器や人工呼吸器などを開発するため、多くの企業で使用されている。

© INCJ, Ltd. All Rights Reserved.

INCJ

https://www.incj.co.jp/